

## 2023年5月期第2四半期決算説明会

### <質疑応答>

質問者1：ダイレクトマーケティングのところで、絞って大ヒットで利益を上げるというよりは、商品のアイテム数を増やして息長くやっていく方向に2年くらいかけて切り替えていくお話でしたが、逆に言うと、この2年間は売上が大きく回復してくるのは見込みにくいのかという質問が1点です。それから回復したときに、中期経営計画の24年5月期の目標には間に合うのかその辺をどのように考えているか教えてください。

飯田：まずこの2年間で売上の推移はどのような傾向になるのかという質問かと思いますが、足元でいきますと円安も一時の円安から少し円高に戻りまして、これで原価率も落ちていくと思いますので、徐々にではありますけれども今期は前期と比べますと落ちると思います。来期につきましては今期から徐々に伸びてくる見通しを持っています。従って今期がTVにつきましては絞るところまで絞った調整期と考えています。

それからもう1点が中期経営計画との関係ですが、これに関しましては下方修正した関係もございまして社内で見直している最中でございます。

質問者1：ありがとうございます。最初のところは原価が下がり始めてきてこれまでに比べれば、収益化する目途が立ちやすいのでコストをかけて売上を増やすことはしやすくなり始めてきているという認識をしてよろしいですか。

飯田：はい。それともう1点、新商品のテストマーケティングをこの苦しい時も手を抜かずに続けておりますので、ヒットしかかっているようなものが出始めております。TVの場合、MRという指標を使うのですが、媒体に1億かけて売上で2億とれますとMR2という数値になります。テスト段階でMR1.6とかMR1.7の数字が出ますと、映像をブラッシュアップすることでMR2になりMR2.1になってまいりますから、そういう新しいヒット品の芽が出始めているということもございます。

質問者2：新体制について、業績が苦しくなった時からずっと見立てと違ったということが続いているのではないかとお見受けするのですが、何が1番当初の見立てと違ったのでしょうか。原価が上がったということはそうなのでしょうが、原価が上がっただけじゃない理由で業績的にも苦戦されているように見えるのですが、何が狙ったところと違ったのか、この機会に変えようとこれからなっていくのか教えてください。

飯田：当初の想定と何が狂ったのかというご質問ですが、この1年ほどコロナの影響がここまで長引くのか、為替レートがここまでブレるのか、予定通り入らなければいけない商品が半導体不足で工場が動かず入ってこないとか、予期しない問題が矢継ぎ早に飛んでまいり、

1点これだ。という理由ではないのですが、そのような状況でした。

質問者3：ジャンル別の売上で今回ビューティーが2億6千万の減少になったと思うのですが、韓国のブランドは好調だと思うので何故全体でマイナスなのか、ビューティーの状況について教えていただけますでしょうか。

飯田：ビューティーで2億6千万の減少になった要因は、生協マーケットで私どもがベンダーとして卸していた仕入商品（NB商品）が、帳合の切り替え等々で、私どもを経由しなくなりましたので通期で約10億の売上が減少する見込みです。韓国コスメの今期の見込みが約10億ですので通期ではプラスマイナスゼロくらいになろうかと思えます。

高橋：補足いたします。中間期で見た場合、売上に占める化粧品のシェアは31%であります。これが通期になると前期末が化粧品の売上が約50億で、当期末の予想としては先ほどもありましたが韓国コスメが市場に出て売上が上がってまいりますので53億になり、前期の化粧品の売を上回るということです。その結果シェアとしては36%まで高まってくると予定しております。

質問者3：ありがとうございます。2点目が韓国コスメについて色々教えていただいたのですが、具体的に23年に店舗数が劇的に増え24年度までに5,000店に拡販ということですがこれはどこまで決まっているのか、それから継続性について日本の消費者の中で何が起きているのか教えていただけますでしょうか。

長野：23年5月期での着地見込みに関しましては、既に配荷の計画等ほとんどが取れておりますので店舗数に大きなブレはないかと考えております。韓国コスメの持続性というところに関してですが、仰る通りブランドごとに見ると浮き沈みあるかと思いますが、ここに書いていない新しいブランドの話もございます。既に取り扱っているブランドも各ブランドでヒット商品が2点以上ありますので、順調に伸ばしていけるのではないかと考えております。

飯田：少し補足させていただきます。韓国コスメの今後をどう見ているかというご質問ですが、ずっと日本の化粧品の輸入国はフランスがトップでしたが、22年1月～9月にかけては韓国がフランスを抜いてトップになっております。No1になってきているということを考えますと、これが一気に落ちるといことはなからうかと思っております。特に化粧品はリピート性が高いですから、ほぼ韓国コスメが定着したと私どもは見えております。